第１回　子育てわくわく推進事業

＜ネイチャーゲームで遊ぼう＞　in　緑ヶ丘おゆうぎ室

※四国中央市こども課主体　子育てわくわく推進事業　　＝人と自然がつながる四国中央 LOVER's 育成事業

令和３年度～５年度の３年間にわたり、市内計２５園の年長児を対象に実施されます。年長児だけでなく、保護者・家族、地元企業などを巻き込んで、幅広い世代の市民が故郷の良さを再認識することができ、「地域をもっと良くしたい」「地域の良さをもっと広めたい」という意識の向上とともに、将来、本市で仕事がしたい、生活したいという思いにつながることを目標とした事業です。

４月３０日　金曜日

こども課からネイチャーゲーム指導員の先生など４名が来園。コロナ感染予防期の為、予定していた公園には出かけず、園おゆうぎ室で行いました。
「広い芝生の上で体験できたら、どんなにか喜んだだろう…」そんな残念な思いが頭をよぎったのも束の間、ゲームが始まって間もなく、子ども達はもちろん私たち大人もすっかり引き込まれ大はしゃぎしてしまった、実に楽しいプログラムでした。どんな環境でも親しめるネイチャーゲームの魅力を再発見しました。

①ゲーム　＜スイミー＞
「海」「山」「スイミー」この３つの合図で、逃げる方向を変えたり、４人以上のグループを作り身を寄せ合って屈んだり、素早く動かないと、大きな魚がやってきてパクリ‼と飲み込まれてしまうというゲームです。素朴で単純明快な遊びながら、子ども達は夢中になって走る走る‼　実にのびのびと、いい笑顔でした。

のぼうぐち

②ゲーム　＜木の葉のカルタとり＞

　指導者の先生方が袋から取り出し見せてくれた、大小さまざまで美しい色つやの葉っぱ達に、子ども達の目は釘付け。大きさや形・色の特徴や、違いの表現の仕方、見比べて感じたことや発見したことなどを自由に発言しています。それぞれが一生懸命考えて、知っている言葉を駆使しながら表現し伝えようと頑張っていました。友だちの発言を「なるほど～、そういうことか‼」と聞くことも楽しめている様子でした。先生が取り出した葉っぱと同じはっぱを黒いシートの上に見つけてタッチ‼　お馴染みのかるたとりと、ルールは同じです。

正解不正解にこだわらず、互いの意見や考えの違いを認めあえる、ゲームでは勝ち負けや順位づけにもこだわらない自由さ解放感・・・子ども達の中に生まれたこの姿は、ネイチャーゲームの目標とするところでもあるようです。

③親子でできる科学遊び　＜跳ぶ種で遊ぼう　マツ＞

風に乗って遠くに種を飛ばすマツ。晴れて乾燥すると、松ぼっくりから外れた種がハラハラと翼を広げたように落ちてきます。折り紙で模型を作り、飛ばしてみました。コツをつかんで上手に投げ上げると、くるくる回りながら舞い降りてくる様子が、とっても可愛らしいです。

インターネットで「跳ぶ種で遊ぼう　マツ」と検索すると、作り方が紹介されています。

あっという間に過ぎた４０分、子ども達は終始とってもいい表情でした。

日頃から、戸外での活動や自然体験を大事に取り組んでいますが、今回のように、専門の講師の先生のリードのもとで体験できたことは、とても貴重でした。この体験を十分活かせるよう、今後も取り組みを続けていきます。そして、子ども達がもっともっと自然に興味を持ち、「なぜ？」と感じたことを、自ら考え探求しようとする力を伸ばしてあげたいと思います。

＜子育てわくわく推進事業＞第２回目は、６月１０日。　当市の伝統産業である「紙漉き」を体験します。

「天狗さんに借りたんじゃない？」